

## 【OIE 情報】 アイルランドにおける非定型 BSE の発生について

アイルランドにおけるBSE（非定型、H型）の発生について、OIEへ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

出典：OIEウェブサイト

[https://www.oie.int/wahis\\_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?page\\_refer=MapFullEventReport&reportid=34431](https://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?page_refer=MapFullEventReport&reportid=34431)

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

### 【概要】

- ・発生数：1件（緊急報告・終報）
- ・発生日：2020年5月12日
- ・OIEへの報告日：2020年5月22日

### 【発生状況】

ティペラリー州フェタード

【動物種】	【感受性動物数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	9	1	1	8	0

症例動物は1頭。感受性動物は8頭（6頭のコホートと2頭の子孫）。すべての感受性動物は淘汰され、BSEの検査では陰性であった。

### 【疫学情報】

- ・感染源：不明または調査中
- ・2020年5月13日、アイルランド農業・食料・海洋省(DAFM)は、所轄官庁承認の認定民間検査機関が実施した迅速スクリーニング検査の結果が陽性であったとの通知を受けた。疑いのあった動物は、48ヶ月以上の死亡動物の公式サンプリングの一環として DAFM のスタッフによってサンプリングされた。サンプルと脳はその後、国立基準研究所(NRL)に送られ、異なる脳領域由来サンプルは、OIE承認の確認用ウエスタンブロット法（BSE分離株の分類のための2つのブロットプロトコル）を使用し確認試験を受けた。すべてのサンプルは、非定型H型BSEを示す同一の分子パターンを有していた。NRLのプロトコルに従い、動物からのサンプルは、その後、脳の髄質上の病理組織学と免疫組織化学のために送られた。2020年5月22日にNRLから最終確認検査の結果が届き、この症例は非定型H型BSEであることが確認された。この症例の牛は、2006年3月8日に生まれた14才のリムザン牛である。この牛群の動物識別・移動登録簿には73頭の牛が登録されている。この牛群は乳牛群であった。この牛は5月9日（土）に死亡するまでその牛群にいた。この牛には神経学的徴候を示した記録があり、2020年3月末に最初に指摘された。牛は運動失調で横臥状態になったが、いくらかの助けを借りて立ち直った。このような状態が2020年4月にも発生し、5月9日（土）にも発生した。農家は、その際、民間獣医師（PVP）に牛を診せることを考えたが、PVP を呼ぶ前に牛は死亡した。この牛は死亡するまで体調良好だった。

【対応】

- ・ 国内移動管理
- ・ 死体、副産物、廃棄物の公式処分
- ・ 淘汰
- ・ ワクチン接種許可（ワクチンが存在する場合）
- ・ 患畜を治療対象としない

【診断】

診断機関	種	検査法	検査日	結果
中央獣医学研究所（国立研究所）	牛	病理組織検査	2020/5/19	陽性
中央獣医学研究所（国立研究所）	牛	免疫組織化学検査	2020/5/18	陽性
中央獣医学研究所（国立研究所）	牛	ウェスタンブロット法	2020/5/19	陽性
Enfer（民間研究所）	牛	簡易検査	2020/5/13	陽性

【発生地図】

